



## 緑の募金事業候補応募書

令和6年1月15日

公益社団法人 国土緑化推進機構  
理事長 濱田 純一 殿

応募者の名称等

〒 103-0028

東京都中央区八重洲1-5-15 田中八重洲ビル2F

住 所

法人・団体の名称 一般社団法人脱炭素推進協議会

代表者氏名 代表理事 高橋 伸也

TEL 03 (3527) 9895

下記の活動を行いたく、「緑の募金」の「SDGs貢献使途限定募金」による支援を希望しますので、事業候補に応募いたします。

### 記

#### 1. テーマ (募集規則に定められたテーマのうち特に該当するもの1つを記載)

気候変動対策への貢献 (SDGs 目標 7、13 貢献)

#### 2. 事業名 (簡潔に記載。20字以内)

早生樹によるカーボンニュートラル貢献事業

#### 3. 事業目的 (この事業を行うことで解決したい課題等を具体的かつ簡潔に記載。60字以内)

早生樹の植栽育樹活動を通じ、2050年カーボンニュートラルへ向けて脱炭素推進の啓発等を図り、地球温暖化対策へ貢献します。

#### 4. 事業内容 (募金者の作業参加を含め、何をどれだけ実施するのか等、簡潔に記載。

複数年の事業の場合、全体計画の位置づけも明示し、別途全体計画のわかる資料を添付)

耕作放棄地等 (2,000㎡) での早生樹 (ハルシベヤナギ) の植栽 (426本) 等を、募金者等も参加しての植樹祭や育樹祭として開催します。また、植栽育樹の活動内容や生育状況をホームページで公表し、広く脱炭素の啓発活動を実施します。事業後の展開は、啓発活動の継続と共に、早生樹の再エネルギー資源としての適応性や木材加工品等としての可能性を研究し、持続可能な森林管理を目指します (別途事業全体計画のとおり)。

(注) SDGsへの貢献について、別添に記載してください。

## 5. 事業場所（位置図を別途添付）

宮城県加美郡加美町谷地森字上野山  
6番地4, 19番1  
所有者：宮城県仙台市青葉区葉山町3番5-504  
号 田屋恵子  
(別途登記簿写、公図写、位置図)

全体面積	0.20	ヘクタール
実作業面積	0.18	ヘクタール

## 6. 現地の状況（別途説明付きの写真、地図・図面等を添付。必要に応じて参考資料を添付）

現地は、山林（未立木地）と畑（耕作放棄地）で居住地域に近い平坦地です。当該山林は地域森林計画に含まれていません。山林（1,142㎡）と畑（858㎡）は隣接しています（別添写真のとおり）。また当該地と町道を挟んだ隣接地には、地域森林計画に基づき、令和6年春にスギを植栽する山林（3,500㎡）があります。（別途写真、位置図、登記簿写、公図写）

## 7. 事業実施希望期間

令和 6 年 5 月 ～ 令和 7 年 2 月

## 8. 事業実施スケジュール（特に、募金者の現地での作業参加の機会を明記）

時期	内容
R6年5～6月	早生樹（ハルシベヤナギ）の植付作業（植樹祭として開催）
R6年7～9月	植栽個所にて下刈作業（育樹祭として開催）
R6年6月～R7年2月	植栽樹木の生育等調査
R6年10～11月	森林林業の視点から脱炭素セミナー開催

## 9. 事業完了後の取組成果の展開予定

（事業完了後の維持管理（主体、内容、期間等）や成果を踏まえた新たな展開について記載。  
必要に応じて参考資料を添付）

令和6年度の事業完了後4年間は、継続して森林樹木の持つ脱炭素機能を含めた啓発活動と共に、生育調査、再エネルギー資源としての適応性や木材加工品などとしての可能性調査を実施します。その後についても、啓発活動、萌芽更新による早生樹の循環利用を行います。維持管理また新たな展開として、地元自治体、林業事業者、森林組合、当一般社団法人などで任意団体を設立し、委託または連携事業として共同研究します。（別途全体計画のとおり）。

## 10. 資金計画書

区分		予算額 (千円)	内訳
収入 の 部	緑の募金交付金	1,500	
	自己資金	575	
	その他助成金		
	合計	2,075	
支 出 の 部	行動費		
	環境整備費		
	資材費	1,500	苗木426本×3,520円=1,500千円
	資材等運搬費		
	指導者経費		
	事務費		
	交付金計	1,500	
	自己資金等計	575	行動費100千円、環境整備費405千円、事務費70
合計	2,075		

(注1) 自己資金等には他団体からのその他助成金を含めてください。

(注2) 募集規則の「交付対象経費」一覧で適切な科目区分をご確認ください。

(注3) 交付金での支援決定の前には、上記一覧の細分毎の額を提出いただきます。

## 11. 応募者の概要

法人・団体の設立年月日	令和5年7月31日
連絡先 電話番号	03-3527-9895
FAX番号	03-3527-9893
E-mail	<a href="mailto:contact@ades.or.jp">contact@ades.or.jp</a>
ホームページ	<a href="http://www.ades.or.jp">http://www.ades.or.jp</a>
会員数	令和5年12月 現在7会員
活動目的	脱炭素推進活動
主な活動内容	脱炭素啓発活動及び早生樹による循環経済への貢献
主な活動地域	宮城県、山形県、群馬県、鳥取県、沖縄県など
主な森林整備及び緑化推進活動の実績（具体的な数値を記載。「緑の募金事業」によるものは明記。必要に応じて参考資料を添付）	令和5年4月より、山形県、群馬県、沖縄県において、早生樹（ハルシベヤナギ）を植栽保育中であり、その生育状況を調査研究中です。また令和5年12月より、千葉大学園芸学部や群馬県立利根実業高校とハルシベヤナギの生育調査や脱炭素啓発活動としての連携事業協議を始めました。

## 実施事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について （整理表）

この整理表は、予定される事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について確認するものです。

- SDGsの17の目標のうち、予定事業が、その達成に貢献する目標にチェック「✓」をしてください。（複数チェック可）
- チェックのある目標について、その達成に貢献する具体的な活動を記入してください。
- 申請に当たってのテーマ以外も含めて記入ください。

SDGsの目標		チェック	貢献する具体的な活動を記入
1	貧困をなくすこと	<input type="checkbox"/>	
2	飢餓をなくすこと	<input type="checkbox"/>	
3	健康であること	<input checked="" type="checkbox"/>	屋外で体を動かす労働の尊さを学びます。また、レクリエーションの場として森林を活用します。
4	質の高い教育	<input type="checkbox"/>	
5	ジェンダーの平等	<input type="checkbox"/>	
6	清潔な水と衛生	<input checked="" type="checkbox"/>	森林を増やすことにより、水を蓄え水害や渇水を防ぎ水質を浄化する水源かん養機能の向上に寄与します。
7	再生可能エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/>	再生可能エネルギーの一つとしてバイオマス発電が注目を浴びていますが、その課題の一つとして燃料の確保があります。早生樹を増やすことにより安定した燃料確保が実現し、課題解決につながります。
8	適切な良い仕事と経済成長	<input checked="" type="checkbox"/>	早生樹の育成により林業経営の健全化を計り、誇りを持って取り組める仕事になることで、過疎が懸念される地方都市に雇用を創出します。
9	新しい技術とインフラ	<input checked="" type="checkbox"/>	早生樹を平地に植え、育てることで、効率化・省力化・生産性向上・安全性向上などにつながるICTやロボット先端技術を活用したスマート林業の実証を行うことが可能です。また、森林は土壌の流出や土砂崩れを防ぎ土壌を保持する土壌保全機能を有することから国土インフラの維持に寄与します。
10	不平等を減らすこと	<input type="checkbox"/>	
11	持続可能なまちと地域社会	<input checked="" type="checkbox"/>	早生樹の事業化が軌道に乗ることで、生業がある地方都市を増やすことができます。水源涵養機能や国土保全機能を有する地域が活性化することで、持続可能な地域社会の形成に寄与します。
12	責任を持って生産し、消費すること	<input checked="" type="checkbox"/>	木質バイオマス発電は、植える一育てる（生長過程でCO2を吸収）—使う—植える、という循環によってグリーンエネルギーとなり得ます。したがって、伐ったら使うという「出口」、伐ったら植えるという「持続性」が事業の重要な柱になります。
13	気候変動への対策	<input checked="" type="checkbox"/>	樹木は光合成により空気中の二酸化炭素を吸収し酸素を排出しますが、この生命活動によって大気中の二酸化炭素量を減らすことができます。これによって、温室効果ガスを削減することができ、地球温暖化の進行を抑え気候変動対策になります。
14	海のいのちを守ること	<input type="checkbox"/>	
15	陸のいのちを守ること	<input checked="" type="checkbox"/>	森林は生物多様性保全機能を有しており、森林に生息する動植物の生育・生息地域になり遺伝子や樹種、生態系を保全することができます。森林とともにこの保全機能を増加することにより、陸の豊かさを守ることに繋がります。
16	平和で公正な社会	<input type="checkbox"/>	
17	目標のために協力すること	<input checked="" type="checkbox"/>	早生樹の育成・利用のビジネスモデルは、海外や国内遠隔地から運搬しなくて済むように組み立てられるので、民間事業者、自治体、地域住民が協力して取り組むことで地域内経済循環実現に近づくことができます。

（注）SDGs（持続可能な開発目標）は、貧困や格差、気候変動、海・陸の豊かさなどのさまざまな問題を抜本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。

詳しくは、国連広報センターのサイトや国土緑化推進機構のサイトのハンドブック等をご参照ください。

[http://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

<http://www.green.or.jp/about-us/sdgs/>